

特集

下地ちびっこ広場について

皆さんが、公園のように使われている「しもじちびっこ広場」ですが、下地ちびっこ広場ができた経緯や、管理形態をご存知ない方も多いかと思いますので、まとめてみました。



1. 下地ちびっこ広場ができた経緯

ちびっこ広場は、かつては、灌漑用のため池でしたが、周辺地域の宅地化等により、ため池としての機能が不要となり、埋め立てをすることとなりました。

地権者と町内会との間で、埋め立てた場所を、地域の子供たちの広場として使わせてもらえないか？という話が進み、地権者が、広島市との間に、当初20年間の貸借契約をして、町内会の管理の下、子供たちの広場として、使わせていただくことになりました。現在、貸借契約は、自動更新中で、どちらかの当事者からの変更・解約要請がない限り、現状が維持されることになっています。

2. ちびっこ広場の管理の現状について

ちびっこ広場は、広島市の公園という位置づけではなく、町内会が管理する広場という位置づけになっていますが、現在は、14班の石丸さんが中心となって、複数のボランティアで、維持管理業務を行っていただいています。（遊具については、広島市が、定期点検を行っています。）

石丸さんのご厚意により、ボランティアで維持管理をしていただいています。町内会が管理責任者であり、ボランティアメンバーの高齢化もあって、来年度からは、「下地ちびっこ広場管理委員会」という組織を作って、組織的な管理体制を作る予定になっています。

百歳体操

毎週(水)10時～下地集会所で行っており、昨年8月で4年目に入りました。1年毎に上位10名程に皆勤賞を授与しています。

100歳まで元気に過ごせる筋力体操に加え、かみかみ体操(口腔機能向上を目的とした体操)とシャキシャキ体操(物忘れや認知症予防の為の頭の体操)も行っています。

※まん延防止の適用期間中はお休み。再開については下地町内会のホームページにも掲載いたします。



参加された方からは・・・

- ・腰痛がなくなった
- ・つまづかなくなった
- ・食べこぼしがなくなった

等のご感想をいただいています。



＜皆勤賞の副賞として絵が贈呈されました＞